

東京電力と岸田内閣は原発事故汚染水の海洋放出を中止すべきだ！ 12月3日の「とめよう！原発依存社会への暴走」1万人集会に参加しよう

岸田政権の「原発依存社会」への暴走は、福島原発事故の教訓を生かさず、原発維持にこだわり、自然エネルギーへの全面切り替えを怠った結末です。日本は、太陽光にも、水にも、風にも、地熱にも恵まれています。もし、先見の明がある政権であったなら、原発に費やされた膨大な税金や電気料金を、自然エネルギーを利用する電源、大容量の蓄電法、省エネ機器の開発と普及に回し、今頃、核燃料、化石燃料など必要のない社会を実現し、世界をリードしていたでしょう。岸田政権の「原発依存社会」への暴走は過酷事故を招きかねません。許してはなりません！

12月3日の1万人集会を成功させよう！！

関電は老朽原発・高浜 1、2 号、美浜 3 号の再稼働を強行しました。現在の科学技術で制御できない原発を、無理矢理稼働させようとするから、事故が発生するので。原発が稼働すると、使用済み核燃料が溜まりますが、その行き場はありません。原発の即時停止を！



今こそ人類の手におえない原発を全廃し、人の命と尊厳が大切にされる社会の実現に向かって、目に見える行動、耳に聞こえる行動に起ちましよう！

「原発依存社会」に向かう法令を実行させない闘いを前進させましよう！12.3「とめよう！原発依存社会への暴走1万人集会」への皆様のご賛同、ご支援、ご参加をお願いします。

アメリカで開発中であった次世代原発 費用高騰！経済性悪化！で建設中止

岸田首相の「原発再推進」の新規建設の“目玉”であった「小型モジュール炉」(SMR)を建設中であった米国企業ニュースケールパワー社はSMRの建設中止を発表した。2029年に小型のSMRを6基並べて46万KW発電する予定であったが中止。それは政府の補助金を考慮しても、電力価格が予定の1.5倍となることが原因。

その発電単価は、119ドル/MWであり、蓄電装置付きの大型太陽光発電の現在価格45ドル/MWの倍以上となり、経済性が全く見込めないことである。

この会社に日本政府が年金財政を運用する国際協力銀行等が約100億円の出資をしており、大きな損失を出したと言われている。バイデン米大統領の、そして岸田首相の掲げてきた「次世代原発」の失敗が明らかとなった。



平和産業はそっちのけで軍事化が進む日本の産業政策 三菱重工などが大儲け！ そして米軍の指導の下に繰り返される自衛隊の共同演習

軍事産業(防衛産業)の受注は大幅に増加し、利益水準も大幅に上昇している。岸田政権が軍事予算を1.5倍以上に大幅に拡大し、軍需産業の利益率を倍近くに引き上げ、研究予算等の補助を拡大したことによる。

戦闘機や長距離ミサイルの三菱重工業や、軍艦や潜水艦を建造する川崎重工業、そしてレーダーなどの電子機器を製造するNEC、三菱、富士通などでは工場の増設や人員増が進められている。政府は長距離ミサイルの研究、宇宙の軍事利用などの推進も進めている。

武器輸出規制を「運用指針の見直し」ということで自民・公明の協議だけで閣議決定して進めている。米軍への

■2022年度の防衛装備品契約額上位5社

社名	金額	主な製品
1 三菱重工業	3652億円	次期戦闘機、護衛艦
2 川崎重工業	1692億円	潜水艦
3 NEC	944億円	宇宙状況把握レーザー測距装置
4 三菱電機	752億円	多機能レーダー、中距離地对空誘導弾
5 富士通	652億円	赤外線探知装置

兵器供給、米国への武器の輸出、米国経由の他国への輸出が進められようとしている。

陸海空自衛隊と米軍の最大の統合演習が開始

10月までの共同演習「レゾリュート・ドラゴン」に続いて、自衛隊3軍と米軍による最大規模の統合演習が11月13日から始まった。福岡の空自基地が使えなくなったとの想定で民間の大分空港を使用した軍事演習が行われた。演習は自衛隊3万人、米軍1万人で、大分、奄美、徳之島、岡山の民間空港を使用して訓練を行う。

日米韓の防衛相会談では来年1月から共同軍事演習を実施することに合意した。

空母型護衛艦“いずも”についてかが“が就航

2023年度防衛予算で53億円を投入して、“いずも”と“かが”を、F35に対応する航空母艦への改修が行われた。“いずも”はすでに改修を終えており、今回“かが”の改修で海上自衛隊最大の護衛艦は空母に変化。沖縄・南西諸島での軍事作戦だけでなく、太平洋での軍事作戦の中心となる。



イスラエルはパレスチナ・ガザ爆撃・侵攻をやめろ！即時停戦！ バイデン米大統領はイスラエルへの支援と軍事協力をやめろ！

関西ガザ緊急アクション(30の呼びかけ団体)の主催で、「ガザ攻撃を止める！御堂筋デモ」が呼びかけられた。朝方にはまだ前日からの雨が残り、北風の吹く中で、新町北公園には500人を超える参加者が集まった。



11/18 役重さん発言

集会は、役重善洋さんの発言から始まった。イスラエルの国際法を無視した攻撃によって多数の子供が殺されている。病院にハマースの司令部があるとのも口実で病院への攻撃が行なわれた。この公然たる国際法違反に対して岸田首相は詳しい情報がないとして実質的に容認している。我われの行動によって殺戮の停止を求めている。



御堂筋デモ

続いて参加団体からの闘いの決意が表明され、参加者でコールを行い、出発。



500人の参加

御堂筋を本町から難波まで、多くの市民にパレスチナ問題を訴えながら行進した。沿道からコールに共鳴する人、途中から参加してきた外国人、高校生など市民が反応してくれ元気つけられた。



殺すな!

世界各国で展開される反対行動、そして国連決議をも無視して、イスラエルは停戦を拒否し殺戮と侵略を拡大している。



10/12 梅田ヨドバシ前

米バイデン政権は人命尊重と言いながら、国連の停戦決議には反対し、イスラエルへの軍事援助を続けている。そのバイデン政権の支配下にある岸田内閣は国連の停戦決議には棄権し、外務相はイスラエルを訪問し支持と援助を約束している。



10/28 女神像前集会

平和憲法を持ち、不戦を誓う日本こそが、イスラエルのジェノサイド攻撃に反対し、パレスチナへのアパルトヘイトを止めさせなければならない。



大阪駅までデモ

イスラエルは即時停戦せよ！ガザ侵攻・空爆をやめよ！占領地から撤退せよ！ガザへの支援物資の搬入を妨害するな！電気・水道を供給せよ！そしてパレスチナへの封鎖を解除せよ！



ガザ住民の犠牲をやめろ！

パレスチナ問題の歴史の一部

パレスチナの地は古代3大文明の結節点である。エルサレムはユダヤ教の、キリスト教のそしてイスラム教の聖地である。紀元前500年頃からペルシャ帝国(アケメネス)、ローマ帝国、ウマイヤ朝の支配が続いた。パレスチナの地では宗教ごとに自治が行なわれ多民族が共生した。

ヨーロッパのキリスト教社会ではユダヤ教徒は迫害された。多くの国で土地所有を禁じられ、ギルドに加盟できず、職業が制限された。そしてしばしば追放され、虐殺された。1179年のラテラン公会議では「ユダヤ教徒の隔離」が決定され、各地で「ゲットー」への收容が行なわれた。

第1次世界大戦で、英国はオスマン帝国を攻撃するために、パレスチナの人々に「独立」を対価として武装蜂起を呼びかけ、ユダヤ人の豪商ロスチャイルドからユダヤ国家の建設を対価として資金提供を受けた。結局は英仏の秘密協定でパレスチナは英国の植民地となった。

1933年ヒトラーが台頭、反ユダヤ主義、反共主義。1939年にはポーランド侵攻で第2次大戦が開始された。ナチ政権はポーランドのアウシュビッツなどでユダヤ人を收容し約600万人を殺戮した。(ホロコースト)

第二次世界大戦後、1947年の国連総会で「パレスチナ分割決議」がアラブ諸国の反対を押切って欧米諸国によって決定。1948年イスラエルが建国され、アラブ諸国との第1次中東戦争が起こった。アラブ側が敗北し、多数のパレスチナ難民が発生(ナクバ)した。

1967年にイスラエルはエジプトを奇襲し第3次中東戦争が発生。米国の支援でイスラエルが勝利し占領地を拡大。1978年にキャンプ・デービッド合意が成立し、エジプト・イスラエル平和条約が調印された。1980年の国連安保理決議で1967年以降のイスラエルの入植地を全て無効とし、撤退要求を決定した。イスラエルはこの決議を無視し、東エルサレムの恒久的併合を宣言。

1981年イスラエルがレバノンに侵攻しレバノン戦争。1987年に占領地で「第1次インティファダ」、ハマースが発足。1988年11月、パレスチナ民族評議会がパレスチナの独立宣言。「二国家解決」路線が確立した。

1993年「オスロ合意」が調印。イスラエルとPLOの相互承認。最終的地位協定を5年後に向け検討開始。自治政府が組織され自治の拡大。しかし、東エルサレムの帰属問題、難民の帰還が進展せず2000年に決裂。

2000年9月から第2次インティファダ。その後、イスラエルはガザ周囲に隔離壁を作り交通を遮断し、海上交通を閉鎖し、水道・電気の供給を制限し、日常的に殺戮が行なわれている。それ以降も武装入植者による入植地の拡大がヨルダン川西岸などで進行している。

2013年3月に、ガザの若者を中心に、イスラエルの非人道的封鎖を糾弾して、非暴力・大衆行動として「帰還大行進」が行われた。しかし世界の世論はこの必死の抗議運動に応えることが出来なかった。そしてイスラエル軍は若者に銃撃を加えた。その落胆が、今回のガザからの大規模反撃にも結びついていると思われる。

ストップ！ ジェノサイド！ イスラエルのガザ侵攻・ 殺戮を糾弾する！



スペイン 10/13日
マドリッドで
パレスチナを守れ！

欧州では各地で



米国・ニューヨーク
10/13日
パレスチナに自由を



イラク首都の
バグダット
10/13日連帯集会

アラブ諸国で



英国 ロンドン
11/11 30万

ヨーロッパ諸国で
盛れる行動

詩人の石川逸子さんが「ガザ・いま」という詩を発表された。イスラエル政府・軍のガザ攻撃に抗議する運動にこの作品を活用することを石川さんは望んでおられ、転載を許可されている。転載された時には、加賀谷いそみさん(QZF01055@nifty.ne.jp)に転載の媒体を連絡してください。石川さんに連絡します。

ガザ・いま

石川逸子

ガザ いま 通学途上の子どもたちは 瓦礫の下敷きに
ガザ いま 窓ガラスを破られた暗いアパートで ひとびとは凍え
ガザ いま イスラーム大学の校舎は崩れ落ち 病院もねらわれ
ガザ いま 消防署が国連事務所が 難民キャンプの警察署が
爆撃され

ガザ いま 救急車も炎上し 野菜市場は空爆され

ガザ そのひとたちはなにをした
(先祖伝来の土地を追われ 逃れてきただけ)
ガザ そのひとたちはなにをした
(入植者に四〇%の土地も奪われ ひしめき暮らしているだけ)
ガザ そのひとたちはなにをした
(出口・入口をふさがれ 袋のネズミにされているだけ)
ガザ そのひとたちはなにをした
(道路もおりおり封鎖され 仕事にも学校にも行けないだけ)

ガザ いま その地に イスラエル機は無差別爆撃をおこない
ガザ いま その地に イスラエル戦艦はたえまなく砲撃をくわえ
ガザ いま その地に イスラエル戦車はわがもの顔に進軍し
ガザ いま アメリカ議会は そのイスラエルを支持し

ガザ いま その地で 夜もひとびとは逃げまどい
ガザ いま その地で もがきながら息絶えた ひとびと
ガザ いま その地で 両腕をもがれた 子どもたち
ガザ いま その地で 葬列はたえまなく

ガザ ガザ ガザ..
ガザ その地はいま 水も電気も絶えかけ 食糧も危うく
ガザ その地でいま ながれ ながれつづける 無辜の血
ガザ...ガザ..

ジェノサイドを主導するシオニズム ガザで虐殺を行なうネタニヤフ政権

1897年の第1回シオニスト会議をきっかけにシオニズムがユダヤ教徒の中に広がった。運動のスローガンは、「神からの約束の地への帰還」。聖書の物語、作り話が現実の運動となった。この運動は20世紀になってから展開され、それもユダヤ教徒の一部に過ぎなかった。

ロスチャイルド等の国際金融資本と一体化した帝国主義勢力は、アラブ民族運動に対抗するためにシオニズムと結びつき、トルコから奪ったパレスチナの地にイスラエルを「建国」させ、アラブの人々を殺戮し抑圧した。

今回の事態は、シオニストにとっても、アラブの土地を奪い、人々を虐殺する絶好の機会である。現在のネタニヤフ政権は宗教右派との連立政権で、パレスチナからパレスチナの人々を根絶やしにすることを掲げている。彼らにとっては、神との約束を果たすだけのことである。

シオニズムにとっての目標は、パレスチナ問題の最終解決＝パレスチナ人の絶滅である。現在のイスラエル軍の行動は、この流れの中でしか捉えることはできない。

しかし目論見のとおり実現することはない。世界がイスラエルを糾弾し、パレスチナへの救援が世界に広がりつつある。そしてユダヤ教徒の中でもネタニヤフ政権を批判し、アラブとの共存を主張する人々が増加している。

報告 大学に対する国家統制の強化 国立大学法を改訂し「運営方針会議」設置

11月17日の衆院文部科学委員会で「国立大学法人法」の改正法案が賛成多数で可決された。法案は20日からの週に衆院本会議で可決される見通しである。

この法案は、大規模国立大学に「運営方針会議」を設置することを義務づけるものである。従来、大学の運営方針は教授会で審議され決定されてきたが、2003年の学校教育法が改悪され、副学長の導入と合わせて、教授会の権限を「学長が必要と定めるものについて、学長が決定にあたり意見を述べる」と制約された。経営協議会、教育研究評議会も設置された。

今回の改正はその上に「運営委員会」を決定機関として国家の意向を反映しようとするものである。この会議は大学の中期目標・中期計画、予算・決算を決議する。また学長選考についても意見を述べる事が出来る。

会議は学長と、外部の有識者が想定される3人以上で構成され、委員は文科相の承認を得た上で学長が任命。

この制度は、巨額な予算を付与する「国際卓越研究大学」の検討のなかで、政府の意向を反映するために持ち込まれた。設置対象は卓越大以外にも、東大、阪大などの4校も対象となっている。日本学術会議の会員選定方式の変更と同じ国家管理・規制の流れである。

原発「40年超え」運転 常態化(朝日 11/2)

原子力規制委は九電の川内原発の1、2号の運転の40年超えを認めた。これで60年までの延長が認可されたのは6基目となり、「原則40年」は形骸化されている。他に関電の高浜3、4号も審査中である。規制委は認可しなかったことはない。延長は事故の危険性を増大させる。

米ハリウッド俳優組合、勝利してスト収束(朝日 11/10)

5月に脚本家組合が、7月から俳優組合がストライキを開始し、報酬の引き上げ、最低賃金の引上げ、AIの導入に対する労働者の保護を求めて闘ってきた。今回賃上げを含め要求を貫徹して収束。内容は今後発表される。

廃炉となった「もんじゅ」の直下に活断層(朝日 11/11)

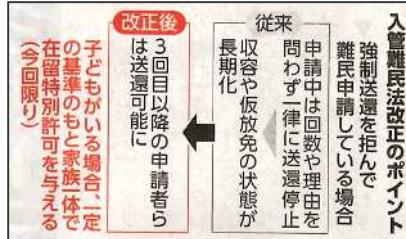
「もんじゅ」は廃炉になったが、核燃料が保管され、試験研究炉の新設も予定されている。今回日本活断層学会で、もんじゅ直下に活断層があることが発表された。

福島原発 汚染水作業中に作業員汚染(朝日 11/14)

汚染水を放出している福島原発で、除染装置ALPSのメンテナンス中に、廃液が飛び散り、作業員2人が放射能汚染した。東電も立ち会わず、作業着も着用しない、そしてホースが抜けるというでたらめな作業であった。

報告 入管法改悪の特例? 「子の在留許可」??

6月9日に「出入国管理及び難民認定法」が改悪された。難民申請者に対しては送還停止が原則なのに、3回目以降は入管局の判断で送還可能となった。強制送還されると死刑になる危険もあり、残された子どもは保護を失ってしまう。この改悪は国際的にも厳しく批判されている。今回の「家族一体で在留特別許可」は、批判を避けるためであり、何の解決策でもない。法務省は強制送還こそ止めるべきである。



報告 旧統一教会問題

自民党・維新との癒着は何も解決していない

政府は10月13日に、旧統一教会について「長期間にわたって継続的な多額の損害を生じさせ、多くの人の生活を害した」として、宗教法人法の「著しく公共の福祉を害する」として、東京地裁に対して解散命令を請求した。岸田内閣は統一教会批判の論点を「高額寄付金による家庭破壊」に集中させてきた。それをもとに今回は「解散請求」を行った。まさにその日に旧統一教会と安倍元首相をつないできた細田衆議院議長が事実を語ることなく退陣した。そして11月10日に急死した。

旧統一教会は、巨額な寄付による信者の家庭の破壊、靈感商法、集団結婚式などで問題を起こしながら、もう一方では「勝共連合」の活動を通じ、戦後保守政権と政策的にも密着し、選挙活動にも関与してきた。

公表されただけでも自民党議員の半数近くが旧統一教会の選挙協力を受けてきており、維新の党にも20名ちかい関係者がいる。自民党は「今後は関係を持たない」と言うだけで、人的、金銭的、組織的な癒着関係を明らかにしておらず、政権政党の責任として、旧統一教会との政策的関連についての総括もされていない。

案内 11/23 沖縄を再び戦場にさせない大阪集会



11月23日(祝)に、「沖縄を再び戦場にさせない県民の会」が沖縄で県民大会を開く。これは「沖縄を再び戦場にしない、沖縄戦を繰り返さない」ための闘い。大阪でも共に闘うために集会とデモが呼びかけられている。ぜひ参加しよう!

日時: 11月23日 13:30~15:00

場所: 西梅田公園 から梅田までデモ

案内 11/26 日中友好45周年記念大阪集会



今年の日中平和友好条約締結45周年。その記念集会が大阪で開かれます。

講演: 梶本徳彦さん(日中友好協会)

インタビュー上映: 泉川友樹さん

発表・報告: 大阪城狛犬会 他

ウイグル歌舞団パフォーマンス

日時: 11月26日 14:00 場所: 国労会館



案内 12/3 とめよう! 原発依存社会

岸田政権は福島原発事故の教訓を無視し、原発の60年超えの運転をめざしている。世界には40年を超えて稼働する原発はない。ぜひ集会に参加を!

日時: 12月3日 13:00 デモ: 14:30

場所: うつぼ公園 (地下鉄本町駅下車)

案内 12/9 ハンセン病問題を学ぶ市民の会 講座



1995年に栗生楽泉園の桜井さんと出会った金正美(キムチョンミ)さん。それから16年の交流を話されます。

日時: 12月9日 14:00 ~16:30

場所: 西宮市中央公民館402号集会室
阪急西宮北口駅下車、駅の南側

大阪府・市は「大阪万博」を中止し「夢洲カジノ」を撤回せよ

「大阪関西万博」の建設費が当初予算の1.9倍の2350億円へ増額された。万博協会副会長の吉村知事は当事者なのに協会職員を呼びつけて、他人事のような演技。誰一人増額の責任を取ろうとしない無責任な体制では、これからも予算が増額されることが予想される。

万博の華ともいべき「海外パビリオン」はまだ一つも建っていない。国内の産業館も建っていない。日建連会長は「限られた期間で建設できる建物の発注を」と言うが、これはまともな建物は無理だからプレハブを意味している。大阪万博はますますショボくなることが明らかである。

夢洲で万博を開催することは、大阪維新が目論む「カジノ」の予定地である夢洲のインフラ整備を税金でさせることが目的であった。朝日新聞社説にも、「万博をめぐる混乱は動機の不純さやあいまいさと無縁ではなからう」、「維新・大阪府市の責任は免れない」と書かれている。

**大阪府・市政を大阪維新に政治を任すことは出来ない!
大阪関西万博は中止し、「大阪カジノ」も中止しよう!**

原発いらナイト in 宝塚

128回 2023/11/24

案内 12/3 とめよう！原発依存社会への暴走 1万人集会



日本は、太陽光にも、水にも、風にも、地熱にも恵まれています。自然エネルギーを利用する電源、大容量の蓄電システム、省エネ機器の開発と普及に力を入れておけば、今頃、核燃料、化石燃料など必要のない社会を実現し、世界をリードしていたでしょう。岸田内閣の「原発依存社会」への逆行は原発の過酷事故を招きかねません。この時代錯誤は許してはなりません！

大阪・うつぼ公園に参集を

岸田内閣は40年を越える老朽原発を次々と再稼働させています。私たちは、今こそ人類の手におえない原発を全廃し、人の命と尊厳が大切にされる社会の実現に向かって、目に見える行動、耳に聞こえる行動に起ちましよう！「原発依存社会」に向かう政治を止め、原発のない社会を実現しましょう。

12月3日に開かれる「とめよう！原発依存社会への暴走 1万人集会」にぜひご参加ください。多くの市民の反対の声を示しましょう。

日時: 12月3日 午後1時、デモ出発: 2時30分
場所: うつぼ公園(地下鉄本町23番出口南へ)
主催: 老朽原発うごかすな！実行委員会



アメリカで建設中であった次世代小型原発 費用高騰！経済性悪化！で建設中止へ

岸田首相の「原発再推進」の“目玉”であった「小型モジュール炉」(SMR)を建設中であった米国企業NSP社は建設中止を発表しました。2029年に小型のSMRを6基並べて46万KW発電する予定でしたが中止に。それは政府の補助金を考慮しても、電力価格が予定の1.5倍となるのが原因。その発電単価は、蓄電装置付きの大型太陽光発電の現在価格の倍以上となり、**経済性が全く見込めない**ことです。

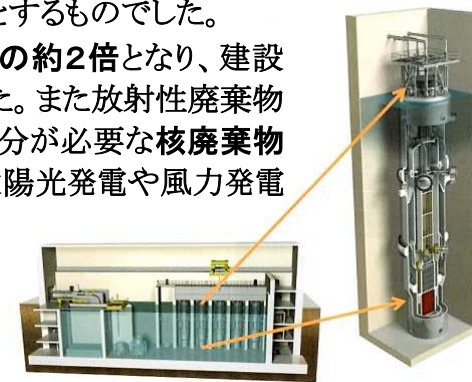


この会社には日本政府が年金財政を運用する国際協力銀行等が、約100億円の出資をしており、大きな損失を出したと言われています。バイデン米大統領の、そして岸田首相の掲げてきた「次世代原発」の失敗が明らかとなりました。

小型モジュール炉とはどんなもの？

小型モジュール炉は「使いやすくて安全な原子炉」をうたい文句に登場してきました。全体を一括して「工場生産+組み立て+輸送+設置」し、現場での作業を最小限にする。今回のNSP社のシステムでは複数のSMRを大きなプールに並べて配置して、冷却システムを一体化することで安上がりにしようとするものでした。

しかし現実には**建設費は予算の約2倍**となり、建設費が安いとの主張は覆されました。また放射性廃棄物は、大型原発より多く、管理と処分が必要な**核廃棄物が2~30倍**となります。そして太陽光発電や風力発電の発電コストが低下する中で、コストは高止まりしています。管理やテロ対策を考えると、全く不経済なものとなっています。



私たちは汚染水の海洋放出に反対し続けます

『廃炉と復興』のための汚染水の海洋放出は全くのデタラメ

政府と東電は、住民の「廃炉と復興」への期待を悪用し、「海洋放出」が必要だと言明します。しかし現実には、廃炉作業はほとんど進んでいないし、めども立っていません。廃炉のためには燃料デブリの取り出しが不可欠ですが、今年の3月、8月の試験的取り出し計画も失敗。東電は30年から40年で廃炉作業を進めたいとしています。現場からは、100年単位でかかるのではないかと意見も出ています。

タンクの設置場所はあるし、「海洋放出」以外の保管方法も

東電は「処理水を貯蔵するタンクが1000基を超え、廃炉作業をする場所がない」と言いますが、敷地には7号、8号の予定地もあり、タンクも小型でなく大型にすれば貯蔵可能量は増加します。またタンク保管でなくより安全なトリチウム対応の「モルタル化保管」なども提案されています。

トリチウム水放出は六ヶ所村の「再処理工場」対策か？

政府が「トリチウム処理水の海洋投棄」を急ぐ理由としては、青森に建設中の「再処理工場」が来年完成予定で、そこでは大量の「トリチウム汚染水」が発生します。その1年分の放出量は、福島1000基のタンクの5倍以上もあり、今回はそれを放出するための予行演習だと言われています。

事故汚染水にはトリチウム以外の多くの核種が

正常な原発から放出されるのは、核燃料に直接ふれない二次冷却水です。熱交換器で一部がトリチウムとなるが、他の核種は含まれません。福島の汚染水は、事故の核燃料デブリに直接触れ汚染した水です。そこには210種前後の核種が含まれています。ALPSで29～68種の核種は量を少なくしますが、セシウム、ストロンチウムなどが含まれています。

汚染水を海水で薄めて放出することは許されない

100倍もの海水で薄めて放出するから安全？そんなことが許されたらどんな汚染物でも薄めて放出できます。問題は総量であり、海底や動植物での汚染物の蓄積です。スリーマイル島原発事故でも、チェルノブイリ原発事故でも、放射性物質を故意に海に放出した事例はありません。

イスラエルはガザ爆撃・侵攻をやめ即時停戦を



ガザへの無差別殺戮の即時停止を!!

昼も夜もガザでは、イスラエルの国際法を無視した攻撃によって多数の子供を含めて1万人以上の市民が殺されています。病院にハマスの司令部があるとの口実で病院攻撃が行なわれました。この公然たる国際法違反に対して岸田首相は詳しい情報がないとして実質的に容認しています。日本は国連の停戦決議に棄権し、上川外務相はイスラエルを訪問し支持を約束しています。

平和憲法を持ち、不戦を誓う日本こそが、イスラエルのジェノサイド攻撃に反対し、パレスチナ・ガザへのアパルトヘイトを止めさせましょう。世界で運動が展開されています。



次回の



アライグマ

第129回 原発いらナイト in 宝塚

2023年12月22日(金) 午後5時～6時

JR 宝塚駅-阪急宝塚駅陸橋で、

古家義高さんと橋本成隆さんの

ウキソフォン演奏と共に脱原発の時を